

第6号

1987年5月24日発行
 社会福祉法人 友愛会
 大島保育所
 大島福祉学園
 友愛園
 南川福祉学園
 題字 理事長 角野永宗

海 清



車いす

僕のあいぼう 車いす
 春の野道に つくしんぼう
 ねぼけたカエルが 目を丸め
 もん白蝶が 拍手する

ガタガタ道を 車いす
 くぼみに足が 入り込み
 ななめになつて 落ちそうだ
 ひとりぼっちで 動けない

学校帰りの 女の子
 二人がかりで 引き上げて
 一緒に河原 散歩する
 やっぱり 楽しい車いす

溝口 茂
 (友愛園)

感動・楽しみ 多くの体験しました 失敗・悩み

理事長困んだ座談会

《出席者》

このたび角野理事長と、福祉施設の現場に働き出して一年というフレッシュな女性4人の座談会を開催しました。一年の間に体験した悩みや、感動、仕事にける思いなどを語っていただきました。

角野 永宗 (友愛会理事長)
松島 順子 (大島保育所)
中野 花子 (南川福祉学園)
赤坂 美由紀 (友愛園)
兵頭 一枝 (大島福祉学園)
谷口 新市 (" 指導課長=司会)

[悩み]

接し方が難しくて……

谷口 今日、社会人となり約1年が経つ女子職員・各施設より代表者にお集り願ひ、一般社会とは違う職場であり、そういった点でこの1年を通じて悩みや、楽しかった感想を述べてほしいと思います。施設に勤められて、どうしたらよいのかわからないといった不安などがあったのではないかと、そういったところで悩んだことについて話をして下さい。

赤坂 そうですね。当然のことなんですけれども入所者のみなさんひとりひとりの介護方法が、何もわからないので大変困りました。どこまで自分で出来るのか、どのへんから介護するのか、全くわからなかったので、すべて私がしてしまった方が早いとさえ思ったほどです。例えば「私は長年働いてきて、今さら何かに取り組む気力はないんだ」という方がおら



れるのですが、すごいショックを受けました。この方にどのように接したらいいのか、経験のない私には指導する確信が持てず本当に悩んでしまいました。

中野 私は児童施設に勤務しているのですが、私の担当していた子供で、物に対する執着心が強く、人の物まで欲しがることが多いのですが、子供にやりかえされるとイライラして他の子にあたりたり、情緒不安定になってしまったりで、そんな子に対してどのように自制心を身につけさせていけばよいか、いろいろ悩みました。



角野 友愛園であれば身体障害者また大島福祉学園であれば精神薄弱者である。その人たちは皆、皆様方の先輩である。その先輩の方々の方々の気持ちの立場にたった相手の仕方、指導の方法というもの



が心の底に常になくなくてはならないと私は思っております。そうすることは生かすということである。そのお世話をしていく人の基本的な愛情が根本になると思う。しかし同情ではいけない。

どの世界でも相手の取り方を、ひとりひとりどうなのかと考えていては何もできない。できないからといってその方に接する最良の方法を構じなければならない。

ところで、何をやっても相手にもうまく受け入れてもらえないことがある。そういう過程が今貴女の方のおかれている問題ではなかろうかと思う。

相手の方に受け入れられ、そして喜ばれる気持ちが大事であると思う。どうしたらうまく受け入れてもらえるのが、常に自分の心の中になくなくてはならない。そういう気持ちを絶対に忘れてはいけない。

[感動]

別れの場面に胸を打たれ……

谷口 物を扱う職業ではなく、人を育てる仕事でいろんな場面にて

あったと思います。心をゆり動かされたようなことはなかったですか。

松島 入所した時には、ほとんど言葉も話せない子、又ヨチヨチ歩きの子も日がたつにつれ、言葉も出、日一日とはっきりした



口調で話し、又、うまく一人で歩けるようになった時には、ことばに表わせないよるこびがありました。

又、毎日の保育の中で身辺処理のできない子も、自分でパンツをはき、ズボンのあげおろしができるようになったことです。

赤坂 私の場合、松島さんと少しちがうのですが、この前、私の担当していた方が退所されたんです。いつもは、表情をあまり変えない人なんです、その日の別れの車の中で、顔をくしゃくしゃにして私たちに涙を流してくれたことが忘れられません。胸が、もう一杯になってしまいました。

[失敗談]

関わりがないと寂しいもの……

谷口 私も、ものを忘れてたりと失敗があるんですが、みなさんも何かありますか。

兵頭 私が勤め始めてまもなくの頃、自分の担当する部屋の人とトラブルを起こしたことがあります。「先生とは口を聞かん。違う先生に見てもらわう」と言われた時はショックでした。同じ部屋でもどうしても障害の重い人に手が取られ、その人は障害が軽い方なので、あまり関われず寂しかった面もあったと思うのです。



松島 他の子どもに気をとられていると、トイレにつれていかなければならない子どもは、トイレにいった時にはまに合わず、オモラシをしたことや、物の取り合い、ドアの開閉にも、その場その時を注意しておれば、ちょっとしたケガや、泣きわめいたりすることも未然にふせげたのではないかと反省しています。

[仕事の姿勢]

人を育てる仕事に責任感…

谷口 今の話など、先輩職員も同じような体験をしていると思います。そこから仕事の興味や意欲がわいてくるのではないかと



思います。みなさんの体験からの仕事への姿勢はどう変わりましたか。

兵頭 あたり前のことですが、人を育てる仕事に携わっているわけですから、その責任は重大です。ひとつひとつの仕事をきっちりこなしていくには、細かなことでも連絡をとり、確認しあうという姿勢が大切だと思います。

中野 私も他の職員が、人のことまで考えて動いているのを見ると、自分自身もっと遠慮しないで積極的にやらなければと思います。

[楽しかったこと]

成長を見守ることのうれしさ…

谷口 最後におもしろかった、楽しかったことも結構あったのではないかと思います、その中から一つ二つお願いします。

松島 今年度から初めて実施した、年長児のお泊り保育、子ども達にとっては、友達同士でさわぎながら保育所で寝たり、花火やプール、スイカ割等をして楽しいひととき

を過ごしました。又秋の小遠足では、乗り物を使わずに近くの海岸へお姉さんと一緒に歌をうたいながら歩いたことが楽しい思い出です。

中野 遊戯指導を担当しているのですが、遊戯に入れなかった子が少しずつ入れるようになってきたことが、とてもうれしかったです。

兵頭 いろんな行事がありました、中でも汽車に乗った遠足は、障害の重い人たちでも見違えるような楽しい表情をし、私自身もすごく楽しかったし、何か共有できたようなそんな気分でした。

赤坂 兵頭さんとよく似ていますが、広島へ入所者の方と行った一泊旅行が楽しかったです。今まであまり話をしたことがなかった入所者の方と、いろんな話ができることがよかったですね。

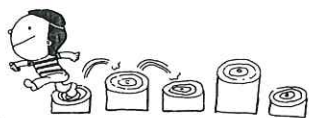
角野 禅宗には禅問答というものがある。常に問題を頭の中に抱えているから、托鉢などで歩いていると、前に電柱があるのを知らずに電柱にあたる。その「あたった」時、「痛い」と思った拍子に悟りの境地が開ける話、また竹やぶにごみを捨てに行く時、石が入っていて「カチン」と音がする。その音でひらめくという話もある。

だから自分はこういう問題で困っている。これを解決するためにどうしたらよいかという「疑問」・「問題」を常に心の中に持っておらないと「わかる」ことも「わからず」に日々を過ごしてしまうことになる。

谷口 今後とも、友愛会職員として手を取りあい、園生の処遇に力をそそいでほしいと思います。長時間にわたり、ありがとうございました。

びのわみ

大島保育所



女の子はもちろん◆
◆男の子も楽しい!!

ひなまつり

「あかりをつけましょぼんぼりに」と子ども達の元気な歌声の中、3月3日ひなまつりが行なわれました。玉子のからや空きびんを利用しての自作のおひな様も飾られて、歌ったり踊ったり、「ぼくのお家におひな様ないよ」と言う男の子も、今日はみんなと一緒に楽しいひとときを過ごしました。

お昼には、各組そろって遊戯室で昼食を食べました。ひなあられやジュースも出てくると、「おひな様にも少し分けてあげましょうか」と、かわいい声もきかれました。本当に楽しいひなまつりでした。



卒園式 緊張の9人

これからの成長を願う

「先生、机買ったんやでエ」「ランドセルは赤色なんやア」「お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に学校へ行くんやってエ」「制服はスカートとズボンがあるんやでエ」と、ふっと感傷的になってしまう担任をよそに子供達は、小学校へ入学するという喜びに胸をふくらませているようでした。そして3月23日、かわいい9人の子供達は、そんな思いを胸に卒園式をむかえました。

当日は、たくさんの来賓の方々が来られ、少し緊張気味の子供達でした。それでも修了証書授与では、きびきびとした立派な姿を見せられました。

そして最後は「螢

の光、の流れる中、園長先生からやさしいお言葉とお花をいただき、御父兄や在園児に見守られ保育所を後にしました。

思えば、子供達のこの数年間の成長は目を見張るばかりのものでした。そのお手伝いを少しでも出来た事を誇りに思い、これからの成長を楽しみにしています。

(山田)



びっくりばこ

～大島福祉学園の巻 成長を分かち合う

この人達と共に生きたいと、希望に燃え学園の門をくぐったあの日。始めの頃の情熱も、何もかもが新鮮でささいな事に感動した心も、様々な壁にぶつかるたびに思い悩み、いつの間にか少しずつしほみ、月日を重ねるにつけ慣れ合いも生じ、日々の生活に流されることが多く、意欲は徐々に薄れていく毎日です。

振返ると目的意識もなくただ漠然と仕事をし、長い目で根気良く指導をと思っけていても、目に見えた変化がない彼らを前にし、あせりやいらだちのしめる割合が多いのが本音です。2年間に園生とふれあいや暗中模索を繰り返しながら得られた大きな事は、誰もが日々成長していること、そして彼らのわずかな成長を共に喜んで、分かち合えることです。

より人間らしく生きるために、共に発達、成長を続けたいと心を新たにしています。

——豊かな心をもって——

(久保智子)

海とぼくらと

精神薄弱者
更生施設 大島福祉学園

経験が深まり喜びが……

老舗での職場実習

学園で職場実習を取り入れて既に3年余りが経ちました。その間に1人が社会自立を成しとげ、それに続けと現在も3人の若者が実習を継続しています。睦美さん、浩美さん、修一君の3人、その年齢は24才。人生で一番いい時期を迎えています。

彼らが通勤しているのは小浜の和菓子の老舗です。甘い香りがいっぱい漂う職場で幾つもの失敗を繰り返し、そのたびに激励を受けながら、ひとつひとつの技術を習得しています。

彼らの仕事は、主にまんじゅうに関することです。型にあんこを入れて作るもの、機械

で作られたのを形に仕上げ、さらに鉄板で焼くもの、ほかにあんこ炊き、箱の包装、パック詰めなどを手がけています。どんな暑さや寒さでも、休んだことのない彼らの根性が、しだいに実を結びつつあるのでしょう。

「この頃になって、仕事もだんだんわかってきてうれしいです。特



にまんじゅうを自分で形にできるようになったことが一番です。おばさんたちにも大事にてもらってますし……」と睦美さんも今の心境を語ってくれました。

大島宮留、午前6時40分発のバスに今日も眠い目をこすりながら実習に向かう彼らの姿があります。

＊園の桜満開＊

お花見

春満開。園庭にある桜の樹々にも淡いピンクの花が咲き、春の息吹きに包まれています。そんなある日、『きょうはお花見にしよう』とひと声かかると、その日の昼食は食堂テーブルを外に出して、花の下で食事ということになるのです。即席のお花見のできあがりです。



わたしの作品館

① 金ちゃんとスキルギャラリー

金ちゃんこと宮下金太郎さんは、園でも有数の頑張り屋です。マラソンでも人一倍練習熱心ですし、園内の美化についても人の見えないところで働いてくれたりします。そんな金ちゃんが余暇時間を有効

に使ってみようと思ったのがスキルギャラリーです。

このスキルギャラリーというのは、いろいろな色の小さな玉を図案に従って並べ配色していくと、最後に美しい絵に仕上がるものです。なかなか細かな作業で根気やち密さが要求されます。

金ちゃんは写真の作品をホームルームの時間などを利用し、5ヶ月がかりで仕上げました。この作品をお気に入りの方があれば、原

価でお譲りしたいとの希望を持っています。是非ご一報ください。



くるまです少し前進!

身体障害者療護施設
……友愛園

友愛園あれこれpart 6

クラブ紹介—手芸クラブ

手芸クラブは、入所者の生きがいと、残存機能の訓練を目的として、始められました。

現在メンバーは14名で、1ヶ月に2回行なわれています。東野手芸店さん(小浜市内)の御指導のもと、担当職員3名と共に楽しく活

動しています。

作品は、小さなビーズ玉を貼りつけ、いろいろな模様を描き出すものから、はたきに至るまで数多くあります。また、地域の方からいただいた布や、廃品を利用し、可愛い小物や人形なども作っていま

す。なかには、プロ顔負けの作品もあり、腕もかなり上達してきました。

これらの作品は、友愛会文化祭などで展示しますので、是非御覧になって下さい。

今後は、編み機等も取り入れ、幅をどんどん広げてゆきたいと考



そのちゃんの朝

「そのちゃん」こと柴田園子さんは、地元小浜市の出身です。入所者の中では最年少であり、みんなから可愛いがられ、アイドル的な存在です。愛嬌もあり、とても明るい女性で、毎日元気一杯に生活しています。

また、そのちゃんは歩くことができるため、車いすに乗っている人を押してあげるなど、やさしい気持ちを持っています。

でも、ひとつだけ苦手なことが

あります。朝にすごく弱いことです。ちょっとしたことでは、なかなか起きてくれません。元気一杯で明るいそのちゃんには、朝寝坊は似合いません。明日からは、元気よくふとんから飛び出して下さい。



寮生の作品も入賞… 地域交流冠句会

3月8日(日)に、第8回地域交流冠句会が、園内において盛大に行なわれました。地元の冠句会のみならずの他、遠くは京都・福井からの参加もあり、総勢約60名の方が来園されました。

入所者も10名が投句し、この日を楽しみに待っていました。入所者の句が、選者(冠を決めた宗匠)から選ばれると、会場には大きな歓声があがり、拍手がいつまでも続いていました。

最後に、入所者の入賞した句を一部紹介します。

《冠題》エチケット

お早ようの声 すがすがし(角野)
忘れてならぬ 人の道 (小島)

《冠題》日々新た

生きる喜び 噛みしめる (井上)



キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

おとなの仲間入り 新成人4人を祝福

1月15日(木)、小浜市文化会館にて成人式が行なわれました。学園では、中野綾男君、森下千

鶴さん、湯浅加津枝さん、芝田智香さんの4人が、新しく大人の仲間入りをしました。



いつもは、トレーニングウェア姿で過ごしている4人も、この日はばかりはお父さん、お母さんに買ってもらったワンピースや背広を着て、少し緊張気味でした。特に女の子3人は、女子職員にお化粧をしてもらったせいか、とても女らしく見違え

養護学校を卒業

中学部の3人……

3月17日、嶺南養護学校の卒業式が行われました。学園でも、分校の中学部に通っている川島多万美さん、宮川美鈴さん、三谷郁代さんの3人が、父兄や在校生の見守る中、学校生活の思い出を胸一杯に、学舎を巣立ってゆきました。



学校の先生ありがとうございます。これからもがんばります。(多万美)



歩行訓練がんばります。(郁代)



みんなと一緒に作業がんばります。(美鈴)

るようでした。

成人式では、市長さんをはじめ、来賓の方々からお祝いの言葉をいただいた後、最後に成人を迎えた人たちと記念撮影を行い、無事式を終えました。

学園でも4人の成人を祝して、「成人を祝う会」が行なわれました。一人一人にプレゼントが渡された後、みんなから祝福の言葉が送られました。

4人とも、今日の喜びを忘れず学園の良きお兄さん、お姉さんとして小さい子の手本となるよう頑張ってくださいと思います。



元気な

ニューフェイス

ひろ美ちゃん

新しく学園の仲間入りをした味元ひろ美ちゃん(8才)は、世話好きで部屋の友達のめんどうをよくみてくれます。時には、おセンチになって泣くこともあります。とっても明るく、元気な女の子です。皆さん、どうぞよろしく!!





(1月～3月分)

◆友愛会

♣寄付

りんご……からころさん

◆大島福祉学園

♣奉仕・交流

3月2日…高浜町モラロジーのみなさん

♣寄付

寄付金……大飯町理容師会さん
石鹼等……鈴木宏子さん

◆友愛園

♣奉仕・交流

- 1月20日…立正佼成会の皆さん (他2回)
- 2月7日…東野手芸店さん (他2回)
- 2月12日…猿橋統流子さん (他1回)
- 2月16日…買物ボランティアさん
小浜市社会福祉協議会のみなさん
- 2月18日…中名田冠句会のみなさん
- 3月5日…中名田・口名田冠句会のみなさん
- 3月7日…岩本エイさん (他1回)

- 3月19日…光道園のみなさん
- 3月29日…松山善昭さん
みすじ会のみなさん
名田庄井上婦人会のみなさん
小浜市須繩婦人会のみなさん

♣寄付

- テレビ・ビデオ・カメラ
…小浜ライオンズクラブさん
- おかし……今川真理さん
- 布地……高浜町モラロジーのみなさん
- 花嫁衣裳…ツジタイさん
- 貝殻……青戸グループのみなさん

◆南川福祉学園

♣寄付

- 衣類等……中積さん
- 衣類……匿名の方 (大阪府)
- タオル・オムツ
…高浜町婦人会さん



いつもありがとう!!

でんごんぼん

♥退職

次の方々が退職されました。長い間ご苦労さまでした。

- 赤崎泰子さん (大島福祉学園)
- 岩竹弘江さん (友愛園)
- 清水早百合さん (南川福祉学園)

♥異動

次の方が4月1日付で異動されました。

時岡淑乃さん (友愛園)

♥採用

新しく次の方々が採用されました。よろしく願いいたします。

- 中野晴美さん (大島福祉学園)
- 山田晃子さん (大島福祉学園)
- 下西由美さん (南川福祉学園)

友愛会後援会 会員を募集中

友愛会の福祉活動を育成援助することを目的に、友愛会後援会が結成され、多くの支援を受けながら活動を続けています。

今年度は、広報「海清」の発行や友愛会文化祭等に協力します。

みなさんの絶大なご支援をお願いします。

●会費

- 一般会員 年額1口(千円)以上
 - 特別会員 年額1口(五千円)以上
 - 法人会員 年額1口(三万円)以上
- 大島福祉学園までご連絡下さい。

編集後記

田植えの時季となり、学園の近くでも、きれいに植えられた苗が力強く根をはろうとしています。種から苗へ、苗から稲と自然の力や、人の手により育成されます。

各施設は、新年度の処遇計画のもとスタートをしました。長期的計画・中期的計画・短期的計画のビジョンをたて、各個人の処遇向上を図ります。「計画をどう実践するか」常に課題意識をもち、前向き姿勢で、充実した日々にしたいものです。

今回は、理事長さんと女子職員との対談をとり上げました。なかなか雰囲気のもと、有意義なひとときでした。また、新企画を考えていきたいと思っています。(谷口)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6
大島福祉学園内
広報「海清」編集部

☎919-21 ☎0770(7)0185